

2015年10月19日

各位

エイワイファーマ株式会社

## スタンディングバッグ<sup>®</sup>輸液製剤が「2015年度グッドデザイン賞」を受賞

エイワイファーマ株式会社(代表取締役社長:齊山三雄、本社:東京都中央区)が開発した医療用輸液容器のスタンディングバッグ<sup>®</sup>輸液製剤が、このたび2015年度グッドデザイン賞(主催:公益財団法人日本デザイン振興会)を受賞しました。

スタンディングバッグ<sup>®</sup>は、従来の輸液製剤のボトルとバッグの利便性を融合させた新しい医療用輸液容器です。バッグに「自立性」を付与することにより保管時・運搬時・使用時・廃棄時における「使い勝手」「視認性」の向上を目指しながら、独自の製造方法により医薬品に求められる「品質」「機能」を兼ね備えた容器です。特に、無菌性が必須となる輸液製剤に求められる品質水準を独自の製造方法の開発により実現できたことが高く評価されました。

スタンディングバッグ<sup>®</sup>輸液製剤は、現在ボトルで販売している日本初のシリーズ化された電解質輸液「ソリタ<sup>®</sup>-T輸液」シリーズ(エイワイファーマ株式会社製造販売承認)、「YDソリタ<sup>®</sup>-T輸液」シリーズ(株式会社陽進堂製造販売承認)として製品化を行い、2015年12月薬価基準収載・発売を予定しております。

エイワイファーマ株式会社は、「一滴の思い、ずっとめぐる。」をスローガンに、今後も医療関係者に役立つ製品の開発・改良に取り組み患者様の治療に貢献して参ります。



◇名称:スタンディングバッグ<sup>®</sup>輸液製剤

◇デザインコンセプト:医療現場の「ニーズ」と医薬品に求められる「品質」を両立すべく開発された輸液製剤

◇創意工夫:

「視認性向上」

- ✓ 段ボールケースを開封した場面では、製品天面より「ゴム栓の色=品種」、「ゴム栓のカバーフィルムの印刷=容量」が同時に確認できる。
- ✓ 棚に並べた場面では、自立することにより、印刷面が前面に表れることになり品種確認ができる。
- ✓ 製造番号・使用期限は、容器が重ならない位置へ配置し、製品ロットが混在した際も問題なく先入先出が可能となる。
- ✓ 点滴時に読み取れるように逆さ文字の製品名をデザインしている。

